

新大分スタンダードへの思い

(起) 授業スタイルを「強制」(?)したわけ

(承) 当初、授業改善を3つに限定したわけ

(転) 実験

(結) 特別支援教育の視点からの授業改善

**低学力の児童生徒に優しい3つの授業改善
(H22.10)**

大分スタンダード (H25. 4)

新大分スタンダード (H26. 9)

新大分スタンダードver.2 (H29. 4)

「3つの授業改善キャンペーン」(H22. 10. 1)

Skill Up OITA 2010

大分県教育委員会

低学力層の児童生徒に優しい3つの授業改善の徹底

校長経営
のPoint

日常化

可視化

組織化

授業改善のPoint

- ①「1時間完結」型授業の徹底
- ②板書の構造化、板書とノートの一体化
- ③習熟の程度に応じた指導の強化

目指す授業

児童生徒が

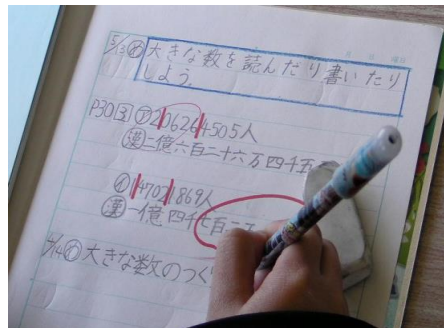
ゴールを見通せる授業

「振り返り」のできる授業

独自課題に挑戦できる授業



「1時間完結」型授業の取組
(宇佐市立長洲中学校)



「板書とノートの一体化」指導
(国東市立国東小学校)



一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導の徹底
(中津市立和田小学校)

知識・技能と思考力・判断力・表現力の双方を伸ばす
「付きたい力を意識した密度の濃い授業」の具現化をめざす

新大分スタンダード

H26年9月提示

「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の魅力ある授業

- 1 1時間完結型
(「めあて」と「振り返り」のある授業)
- 2 板書の構造化・板書とノートの一体化
- 3 習熟の程度に応じたきめ細かい指導の充実
- 4 問題解決的な展開の授業
(単元あるいは1単位時間)

大分スタンダードの
ブラッシュアップ

本時のゴール、
目指す子どもの具体的な姿を
明確にして授業を見直す

知識・技能の確実な定着

- ①自ら課題を発見し、
 - ②その解決に向けて主体的・協働的に解決し、
 - ③学びの成果等を表現する
- いわゆる**アクティブ・ラーニング**の実現

学習意欲・主体性・協働する力の育成

思考力・判断力・表現力の育成





新大分スタンダード

新大分スタンダードで
主体的・対話的で深い学びを！

「学びに向かう力」と思考力・判断力・表現力を育成するワンランク上の授業

1 1時間完結型

「主体的な学び」を促す「めあて」「課題」「まとめ」「振り返り」

- *学習の見通しをもたせ、意欲を高める「めあて」
- *学びの成果を実感し、学んだことや意欲・問題意識等を次につなげる「振り返り」
- *追究すべき事柄を明確にする「課題」、追究した結果を明確にする「まとめ」

2 板書の構造化

*思考を整理したり促したりする板書、思考の過程を振り返ることができる板書

3 習熟の程度に応じた指導

- *「具体的な評価規準」に基づく確かな見取り
- *「努力を要する状況」の児童生徒に対する手立ての工夫



安心して学べる「学びに向かう学習集団」

4 生徒指導の3機能を意識した問題解決的な展開

主体的・対話的で深い学びを創造する学習展開

各教科の見方・考え方を働かせて展開する「課題設定⇒情報収集⇒整理分析⇒まとめ・発信・交流⇒振り返り・評価」等の学習過程の中で行われる

- *問いの発見・解決、自己の考えの形成・表現、思いに基づく構想・創造
- *様々な人との対話・協働による自分の考えの深化・拡充

教員の同一性(UD化)を図るキャンペーン

Skill Up OITA 2010

大分県教育委員会

低学力層の児童生徒に優しい3つの授業改善の徹底

校長経営
のPoint

授業改善のPoint

目指す授業

日常化

可視化

組織化

①「1時間完結」型授業の徹底

②板書の構造化、板書とノートの一体化

③習熟の程度に応じた指導の強化

児童生徒が

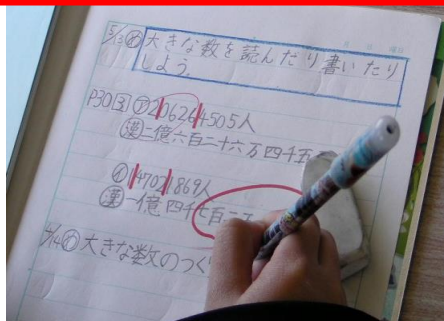
ゴールを見通せる授業

振り返りのできる授業

独自課題に挑戦できる授業



「1時間完結」型授業の取組
(宇佐市立長洲中学校)



「板書とノートの一体化」指導
(国東市立国東小学校)



一人ひとりの実態に応じたきめ細かな指導の徹底
(中津市立和田小学校)

低学力層の児童生徒に優しい3つの授業改善

授業改善のPoint

- ①「1時間完結」型授業の徹底 → 自閉的傾向
ゴールを見通せることで、安心して学習できる
- ②板書の構造化、板書とノートの一体化 → LD傾向
「視覚」の困難が低減され、安心して学習できる
- ③習熟の程度に応じた指導の強化 → ADHD傾向
多くの困難が低減され、安心して学習できる

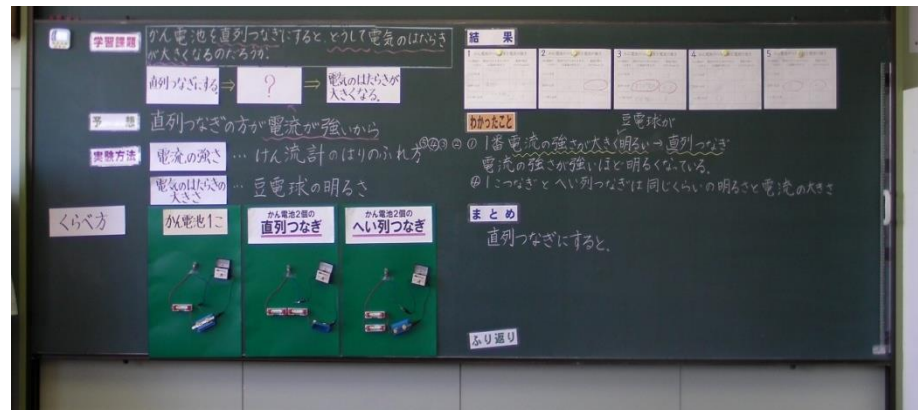
実験

- 今から、あるスライドをお見せします。
- これをご覧になって、まず、心に響いたあなたの正直な「声」をメモしてください。
- お近くの人と交流してください。
- 何を改善すれば、伝わりますか？

秋田県大仙市「教育専門監の授業」



教育専門監

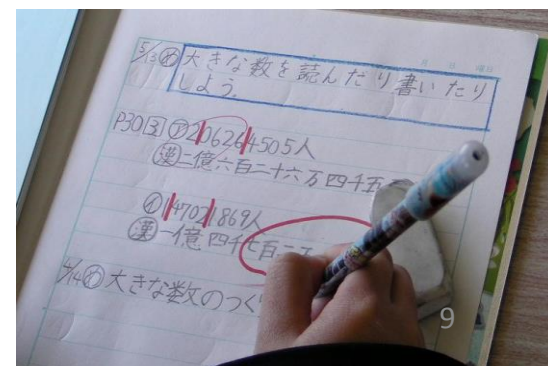
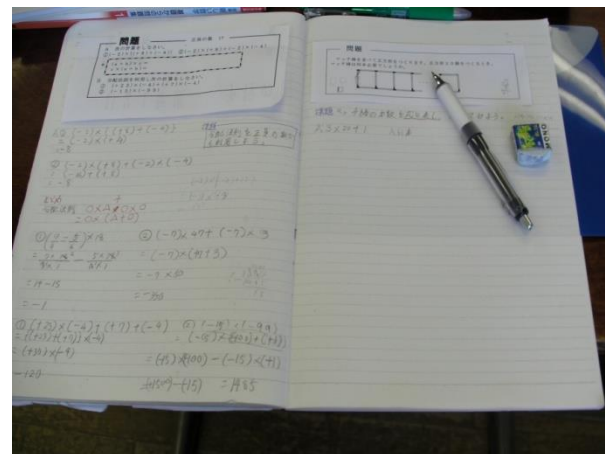


秋田県

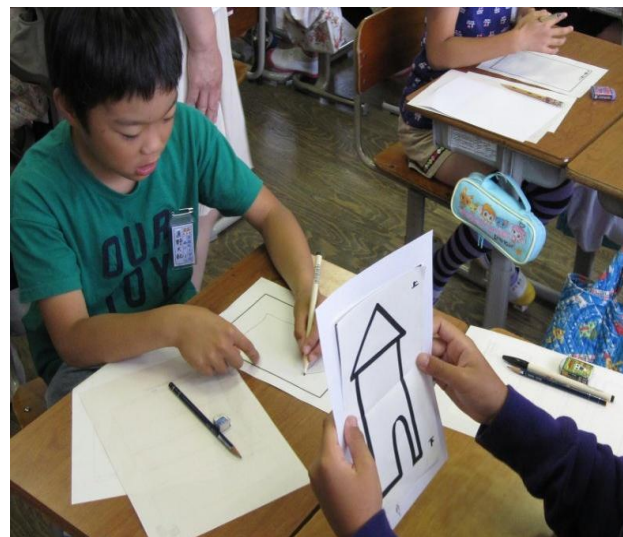
見通しのあるきめ細かな授業

整理された板書と美しいノート

つまずく子に寄り添う教育専門監



学力向上対策先進地研修Ⅱ後の授業改善(H22)



参加者は授業を管内に公開し普及

大分市立王子中学校

○王子中学習スタイルの浸透を図る

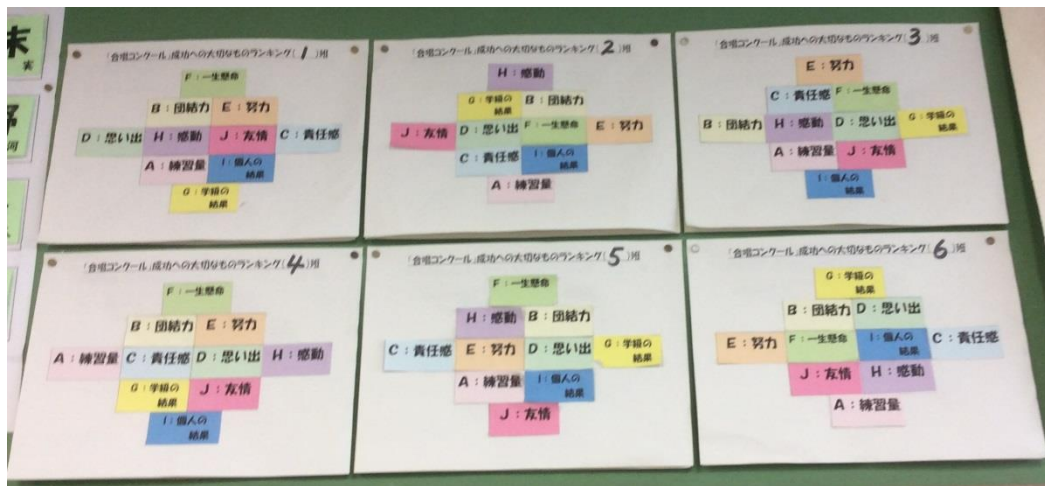
1時間完結型の授業をはじめ、「今日の学習」「授業(本時)の流れ」「課題」などのカードを授業で活用。

定期テストでは、活用力を問う問題を全教科で出題し、考える力や書く力を育成する。

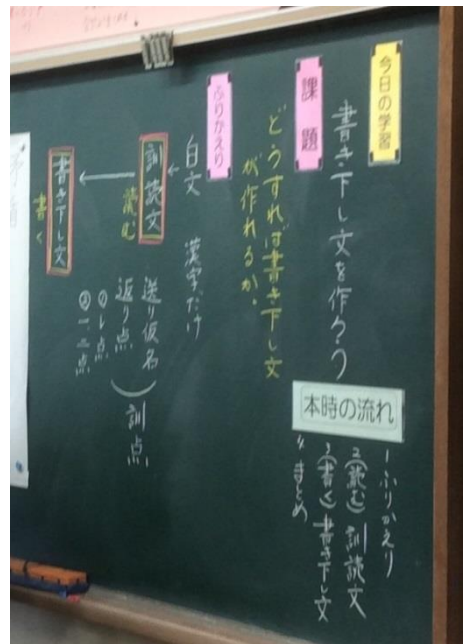
実践力のある生徒を育成するために、活用力を身に付ける授業実践を行う。そのために、小集団活動を組み入れた学習を全教科で展開していく。

また、小集団活動を活性化するために、短学活を班毎に行ったり、大きな行事前の学活では、「ダイヤモンドランキング」などで班→学級で考えさせる取組をたくさん組み込む。

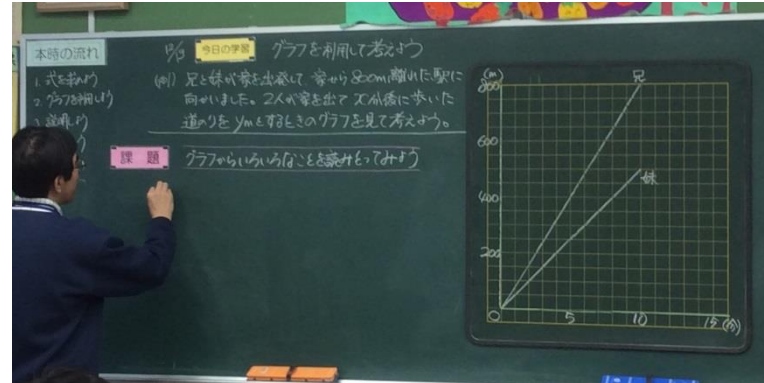
合唱コンクールに向けた「ダイヤモンドランキング」の活用例



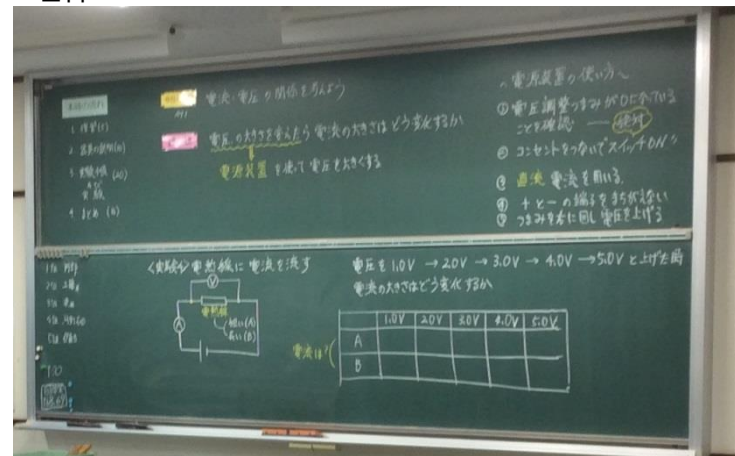
国語科



数学科



理科

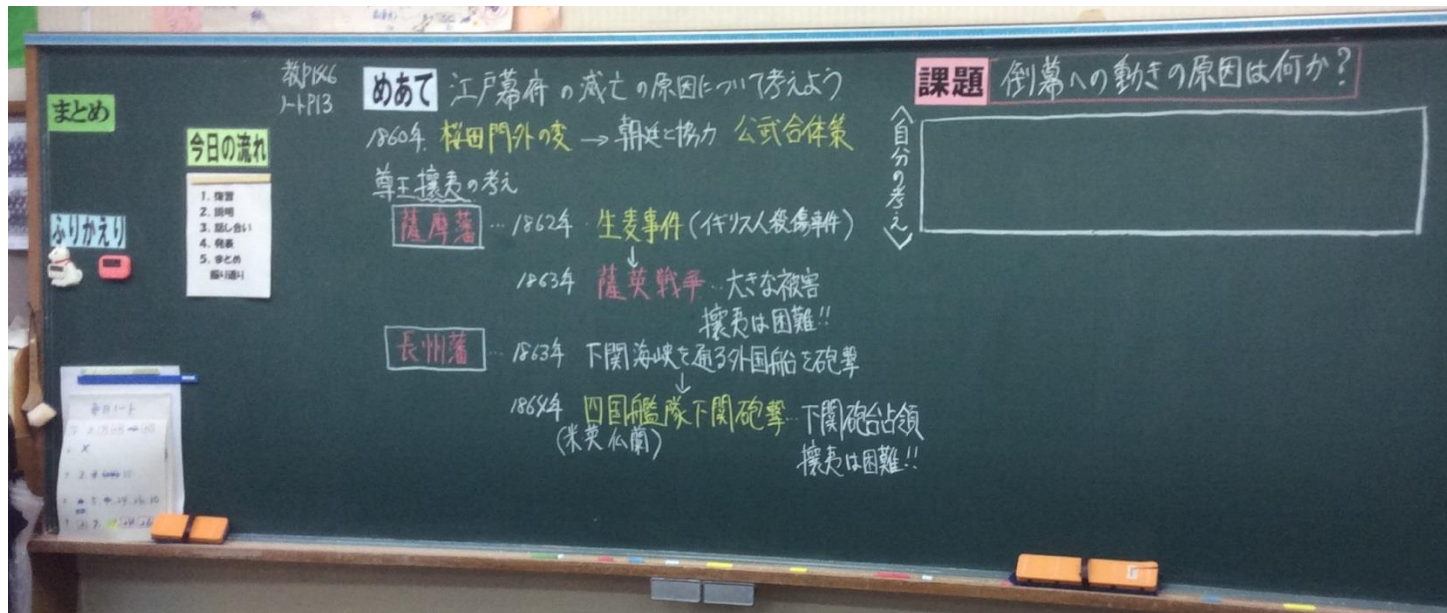


英語科

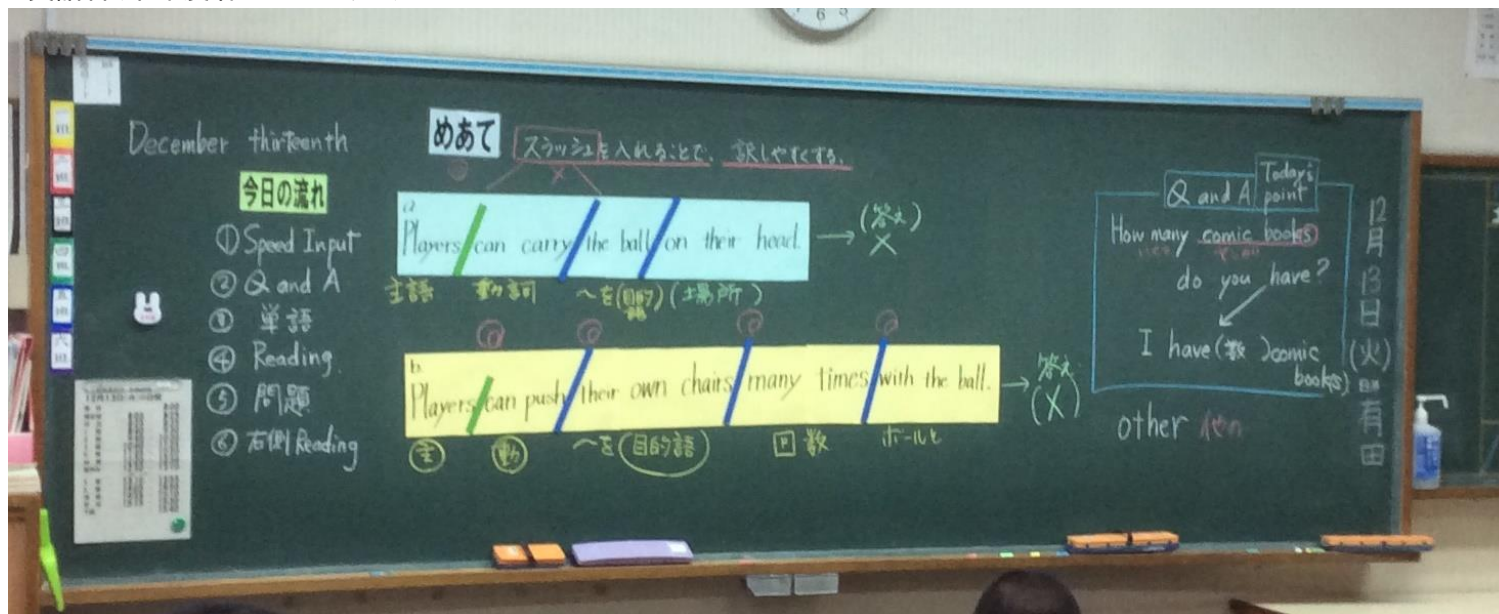


大分市立大分西中学校

社会科(初任者)



英語科(本年度着任のベテラン)



「問題解決」は生活を豊かにするためだったのか！ ～川登小スタイルの教育～

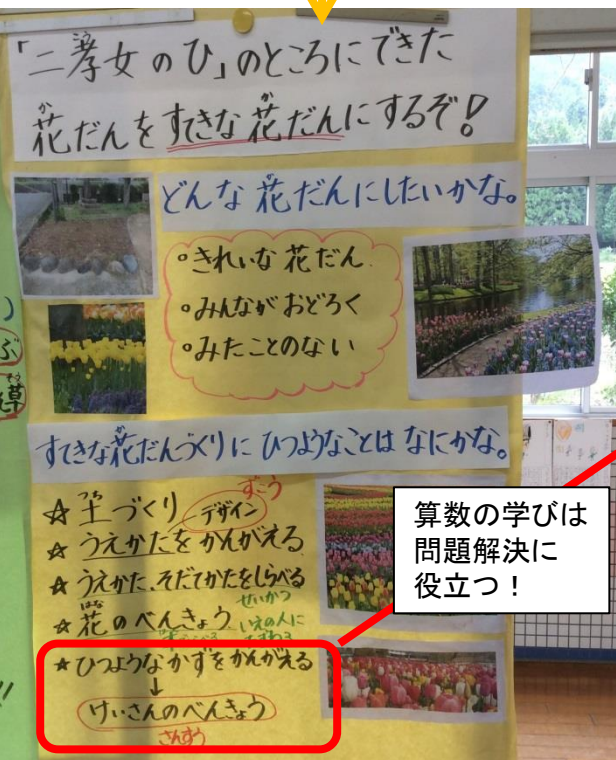
川登小スタイルの教育

- ① 伝統や文化に立脚し、
- ② 主体的に判断し、自ら問いを立てて、
- ③ 解決を目指し、他者と協働しながら、新たな価値を生み出す

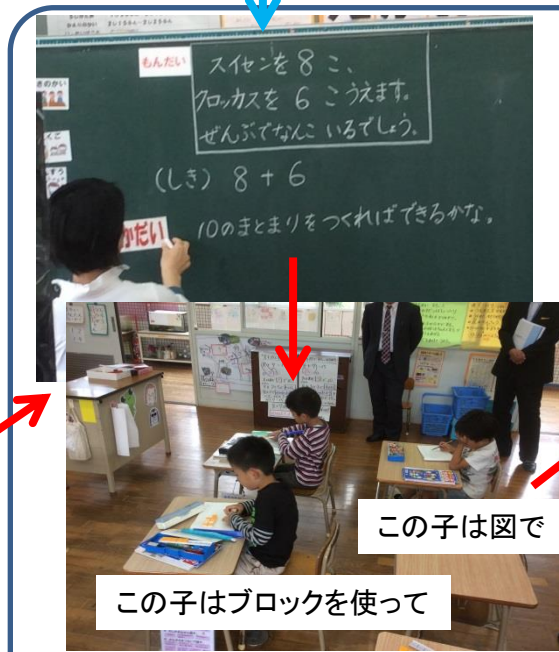
子ども・家庭・地域の笑顔が
集まる学校づくり①
・二孝女プロジェクト

主体的に学ぶ力の育成②③
・ALの日常化

協働する力の育成②③
・仲間づくりの推進



算数の学びは
問題解決に
役立つ！



この子は図で

この子はブロックを使って

問題が提示されたら、スグサマ
解決方法を考え始めた1年生！



対話を通して
自分の考えを交流し合う

1年生の算数を参観した。
学校の説明の具体がそこにあった。
一目瞭然！
何の解説の必要もない。
本当に楽しそうに学ぶ子どもたちの
姿に素直に感動した！

堅徳小授業スタイル ～教職員が入れ替わってもブレない学校づくり～

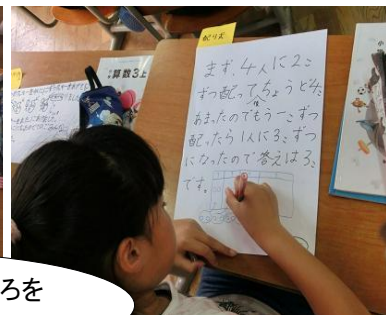
堅徳学び合い学習

① まずは **自分で**

- 自分のやり方を考える
- 図・絵・式などを使って説明ができるようにする



自力解決



似てるところ、違うところを
言い合えてよかった

② つぎに **グループで**

- 自分のやり方を説明
- 友だちのやり方が分かる

質問やアドバイスをしあおう

どうして？

こうすれば？

いいね！

なるほど！

すごい！！

青えんぴつでつけたしや書き直しをしよう

学び合い1



③ さいごに **みんな
でかいけつ！**

- 同じところやちがうところを見つける
- 大事な考え方を見つけ出し まとめる

学び合い2



最後に自分たちで公式を
見つけられてよかった

ポイント1

- 子どもの考えを把握し
グループを編成
 - ・同じ考えor違う考え
 - ・A層、B層、C層の
組み合わせは？
- 考えの相違がわかる
板書計画への再考

ポイント2(②から③へ)

- ・それぞれの考えが
出し合えたか
- ・わかりやすく説明
できたか
- ・考えを比較できたか
- ・十分に時間確保
できたか

2年続けて、国・県の学力調査とも公表校となった堅徳小学校。

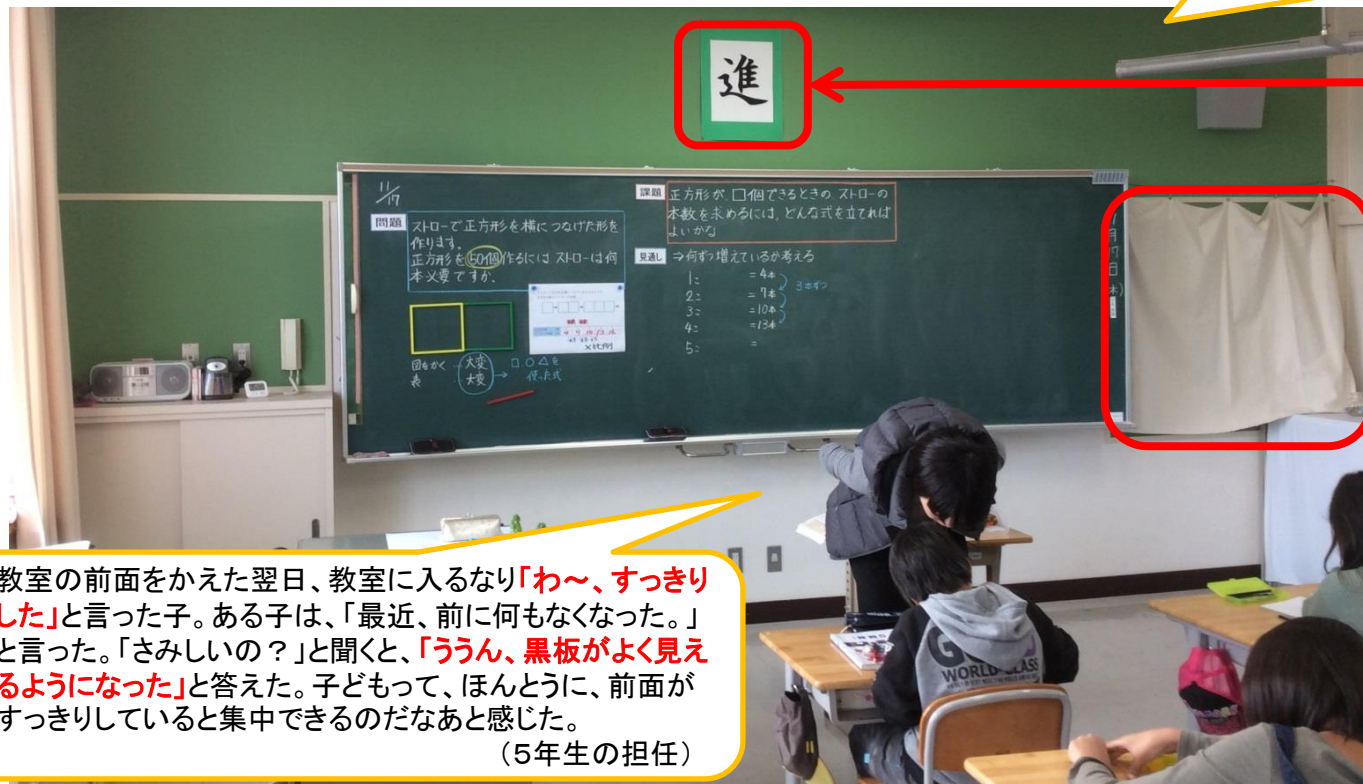
その成果の秘密、組織的な強みはどこにあるのだろうか？

それは、**堅徳小授業スタイル**を確立し、教職員が入れ替わってもブレない学校づくりを成し遂げたことにある。

だが、なによりの強みは、**子どもたちが「学び方」を獲得した**ことにあると実感した！

ユニバーサルデザインで「分かる・できる」授業を ～谷小学校の取組～

教室の前面は、極力すっきりとさせます。
黒板周辺は、一番視野に入りやすいです。黒板周りをすっきりさせることで、刺激量をおさえることができます。
(特別支援教育コーディネーター)



各学級とも「学級目標」のみ掲示

棚は授業中はカーテンで目隠し

前にいろいろ貼っていたときは、
つついそれを見るから、
前には何も貼っていない方が集中
できる。(5年生)

前にカーテンがあると、集中
力が高まる。掲示物がごちゃ
ごちゃしていると見てしまう。
(5年生)

教室の前面をかえた翌日、教室に入るなり「わ～、すっきりした」と言った子。ある子は、「最近、前に何もなくなった。」と言った。「さみしいの？」と聞くと、「ううん、黒板がよく見えるようになった」と答えた。子どもって、ほんとうに、前面がすっきりしていると集中できるのだなあと感じた。

(5年生の担任)



板書の構造化

谷小学校では、全ての児童にとっての「分かる・できる」を保障する教育を目指し、「ユニバーサルデザイン化」に全職員共通理解のもと取り組んでいる。
教室環境のユニバーサルデザイン化による支援で、児童は集中して授業に取り組んでいた！

今、求められている「授業」に
近づくために、

特別支援教育の視点で
授業を見直し、改善してみることに

gotou-eiichi@oen.ed.jp

完

大分の教育再生「学力向上」プロジェクト(私案) H20.9

P-A 愛着(ATTACHMENT)

- 子どもたちの郷土愛をはぐくみます。
 - ・2学期に先哲や文物に触れさせる授業を実施します。
- 慈しみ溢れる地域人材と交流する機会を創造します。
 - ・昔の遊びや地域芸能の継承者を教育活動に導入します。

P-B 改善(BETTERMENT)

- 教師個々の授業力の「集合体」から「組織体」へ学校体質を改善します。
 - ・学校教育目標達成のために職員の目標を管理し、ベクトル合わせをします。
 - ・職員が異動してもブレない学校DNAとしての教育課程を編成実施します。
- 教師の意識を改革します。
 - ・キャリアアップ研修を充実し、ミドルリーダーの意識を改革します。

P-C 公約(COMMITMENT)

- 実現すべき学校教育目標を地域に公表します。
 - ・学校関係者評価を含め、学校評価を実施します。
- 再生プロセスを市町村及び市町村教育委員会とともに構築します。
 - ・学力向上支援プロジェクトを修正し、市町村教委に対する支援を強化します。
- 再生プロセスを地域に公開します。
 - ・地域運営学校(CS)を増設し、学校のあり方を地域に委ねます。